

# 湘友会報 2001

第43号・2001年発行  
**湘南高等学校湘友会事務局**  
 〒251-0053 藤沢市本町 3-1-3 湘南ビル 301  
 <原則として月・水・金の午後に局員勤務>  
 電話・fax 0466-50-0386  
 mail shoyukai@cityfujisawa.ne.jp  
<http://www.shoyukai.com>または[.org](http://www.shoyukai.org)

会報文中の氏名に付した 数字は卒業年次を表します。

## 創立80周年記念

### 2001年度湘友会総会のご案内

日時 平成13年6月23日(土)

受付 10時00分

開会 10時30分

場所 湘南高校内

湘南会館(総会・アトラクション)

清明会館食堂(懇親会)

会費 懇親会費3000円(当日会場受付で受領)

当日受付で80周年記念品(記念誌、絵はがき、)湘友会名簿を販売します。当日は送料割引価格です。

### 母校の創立80周年を皆で祝いましょう。

総会では、会務 会計 監査などの報告と議事その他が行われます。

総会に続くアトラクションは、今年は80周年を記念してプラスバンド部のOBの合同演奏会です。懐かしい思い出の曲に身を委ね、青春の日々に思いをめぐらせるのも時にはいいものです。

大勢のお出掛けをお待ちしております。

### 今年の当番学年は 1回生(末尾1桁)シリーズです。

西暦年号に合わせ、卒業年次の末尾が「1」の会員が総会後の行事運営に当たります。2001年の今年は、31・41・51・61回の方々が中心です。

総会の受付は、湘友会館(多目的ホール)入口ホールに置かれます。ここで懇親会費を支払っていただきます。新しく作られた湘友会名簿や校内展示されている卒業生の絵画作品の絵はがきや記念誌も販売されます。

湘友会館でのイベントの後は、会場を清明会館の食堂に移して懇親会が開かれます。食堂は庭に半円形にせり出したガラスばりのしゃれた小ホール、懇親会を取り仕切ってくれるのは41回生です。立食パーティーで、毎年年齢を超えた楽しい語らいの場になっています。

全日制31・41・51・61回生と  
定時制・通信制 11・21・31回生の皆さんへ

### 十年会費の納入をお願いします。

今年は1の当番学年です。該当する年次の会員には、郵便振替用紙を同封させていただいております。納入はこの郵便振替用紙でお願いいたします。

湘友会の会則が4年前に変わりました。新会則の眼目は、総会運営への輪番参加と十年会費納入制度です。従来の会則では、年会費は定めてあったものの、適当な徴収方法がありませんでした。新会則では、西暦年号末尾と一致する年次が輪番で総会運営に当たるとともに、十年会費5000円を納めるシステムになりました。但し、卒業後10年未満と、65歳以上の会員は、この対象から外しております。

35000人を超える会員に向けての会報発行や郵送費だけで、年間数百万円にものぼり、会の健全財政を維持する上で、十年に一度の5000円会費の納入にぜひともご協力をお願いいたします。

### 懐かしい校歌や応援歌を全員で歌おう



### 80周年記念総会アトラクション

湘友会80周年記念行事検討委員会は、委員長から「総会アトラクションについて、31、41、51、61回の幹事が準備委員会を構成し検討を重ねた。その結果、出席者が楽しく参加できるように、卒業生の吹奏楽演奏で校歌や応援歌を歌おうということになった。

杉野啓一氏<sup>27</sup>の指導の下に、土屋吉弘氏<sup>72</sup>をお願いして集めていただいたメンバーを中心に、前半は吹奏楽の演奏を聞いていただき、後半は吹奏楽の演奏に合わせて出席者全員で校歌や応援歌を歌う予定である。

#### 〔前半の演奏曲目〕

- |            |               |
|------------|---------------|
| 1) マーチ     | 星条旗よ永遠なれ      |
| 2) 映画・TV音楽 | スパイ大作戦のテーマ    |
| 3) ポップス系   | 加山雄三メドレー      |
| 4) ミュージカル物 | ウエストサイド・ストーリー |

#### 〔後半の演奏曲目〕

- |               |          |
|---------------|----------|
| 5) 応援歌 湘南健児の歌 | 五丈原頭 壮行歌 |
| 青春の歌          |          |
| 6) 校歌         |          |

吹奏楽は、大学生か大学卒業直後の若い面々が中心なので、練習日程も十分ではなく、知らない応援歌もあったようだ。ともあれ普段は忘れていた懐かしい応援歌や校歌を皆と歌って、湘南で過ごした高校時代に戻って見

たい。それが80周年を迎えた母校へのお祝いになれば、こんなに嬉しいことはない。

中には、新校舎をまだ見ていない人も多いようだ。是非この機会に母校を訪れ、「青春の歌」でも歌いながら、自分の青春時代を思い出していただければ幸いである。



## 会長挨拶 創立80周年を迎えて

湘友会会長 杉山 巖



10年前の70周年記念の直前、急に会長に選出されて戸惑いながら、皆様のご協力で、湘友会主催の70周年祝賀会を開催したことが、昨日のこのように思い出されます。

来賓として恩師、母校代表、それに北原隆太郎氏(北原白秋ご長男)は

じめ、会員総数200名に及ぶ盛会となりました。母校・湘友会の今日を礎にくださった一湘会の方々と2,3回生の代表、いずれも80歳を越えた先輩が壇上に並ばれ、私から記念品を贈呈し、満場の拍手を浴びました。ところが、今日ではこの先輩達のうちご健在の方はほんの少数になられてしまいました。懇親会はクラブ代表のOBなどが次々に登壇して賑やかに進行しました。

懸案の当会活性化は、度重なる委員会により打ち出した結論を実践に移しました。結果、財政については従来の寄付方式に頼らず、輪番制を採り、10年に一度5千円を納入する規約に改め、総会後のアトラクション・懇親会まで10年に一度の担当年度の諸君に運営していただいております。

校舎改築にあたりましては、70周年記念式典、湘友会主催の祝賀会、湘友会総会、各支部総会でも、県教委案に反対の意見が続出しました。県議団も立ち上がり、(以下文中の役職は当時)藤沢選出の榊居<sup>28</sup>、番場<sup>34</sup>両議員が中心になって活動、葉山藤沢市長<sup>27</sup>、亀井自民党県連会長<sup>30</sup>(代議士)も知事と折衝、ついに10月に入ると、原案を変更して現位置に校舎、運動施設は下に設けることに決まりました。これより先、故長谷川藤沢支部長<sup>20</sup>と、亀井茅ヶ崎支部長<sup>26</sup>の提案で、建設問題研究会が設けられ、学校建築の権威・長倉康彦氏<sup>(22)</sup>都立大工学部長)を招き、渡部英彦氏・清田育男氏(いずれも<sup>27</sup>・建築家)、故石川校長はじめ私共も参加いたしました。また県側の建設課長が来校して長倉教授から意見を伺う機会を設けたり、設計受託者の洋建築設計事務所長を招いて、茅ヶ崎で研究会を開催したり、PTA役員会への説明等、関係各位はできる限りの努力をいたしました。な

お、改築工事の施工は、前田・紅梅組と亀井工業(亀井文夫社長<sup>26</sup>)が共同企業体とし工事にあたりました。

工事期間、先生方や生徒諸君に不自由をかけるので、湘友会は課外活動の場所の斡旋、用具置場等に協力をしました。落成式を控えて、資料陳列場の準備、図書室の充実、絵画の展覧施設等に多くの協力をしました。

考えてみますと、県財政の悪化を眼前にして、県案を出さざるを得なかった県教育委員会の苦境は理解できると思います。工事費計73億円、これにプレハブの仮校舎の費用を加えますと約100億円になり、新設校2校分にも当たる大きな支出でありました。しかし教育環境からいっても、丘の上を運動場にした場合の近隣への迷惑を考えれば、やはりこの改築案が良かったと思います。

かかる支出をして多額の費用をかけて立派な教育施設を提供してくれた県民の厚意に報いるには、この優れた施設を最大限に活用して、生徒諸君が充実した高校生活を送ることにあると信ずるものです。最後にこの校舎で創立80周年を迎えられることを喜び、この感激を新たな世紀に向かって継続するよう願いたします。



## 21世紀に新しい風を



湘南高校長 齋藤 俊英

着任して1年が経ちました。この間に県内の幾つかの支部の会合に出させていただきます。そうした中で、同窓生の皆様の母校へのさまざまな熱い思いを強く感じ、創立以来の校風である『文武両道』を一層発展充実させていくとともに、生徒一人ひとりの個性を生かし、進路希望に応える適切な教育を進めていく必要があるとの思いを強くもちました。今年度の入学生から、学区外からの受け入れ可能な生徒数が従来の定員の8%から25%へと拡大し、4人に1人が学区外から集まるようになりました。この変化がどういう結果をもたらすかは、4~5年後でなければ分かりませんが、いずれにしても学区外枠の拡大は、県内各支部に後輩を増やすことにつながり喜ばしいことと思っております。

さて、21世紀の最初の年に、本校は創立80周年を迎えるわけですが、この節目に、21世紀に対応してどのような学校づくりを進めていくか、どのような生徒を育てていくか、個の確立、共生の心、リーダーシップの発揮、そんなキーワードをもとに議論を進めていくことが喫緊の課題です。

湘友会の皆様方には、今後とも一層のご理解とご支援、ご鞭撻をお願いいたします。

## 湘南高校 NOW

### 21世紀の湘南高校を作るために

----生徒からの提言----

IT革命などという言葉があります。現代の世の中は急速に変化していますね。姿を消したものや新しく現れたもの、形を全く変えてしまったものがたくさんあります。

その中であって、学校はあまり変化がないものの一つと言われており、とくに湘南高校は昔のままの姿を比較的良く留めていると言われます。

しかし、古くからの伝統を守ること大事ですが、世の流れに応じて学校の改革を進めていくことも大切なことです。私たちは、湘南高校のどのようなことを守り、どのようなことを変えていけば良いのでしょうか。そのあたりを、卒業間近の生徒諸君に尋ねてみました。

(取材協力：2000年度3年Bコース他)

**文化系の部活動を活性化したい。文武両道の校風は、「勉強とそれ以外」ではなく「文化的」と「運動的」と解釈出来ないだろうか。**

この生徒は、文化系のクラブ活動が運動系に比べて不活発であることを指摘しています。確かにその傾向はあるようです。しかし、文化系のクラブが運動系に比べて悪い条件下に置かれていることも事実だと思います。例えば、運動部は原則として部室が与えられていますが、文化部にはそうではありません。このため、特別教室の一部を占有してクラブ室にしている文化系クラブもいくつかあり、教職員もそれを黙認せざるをえない現実があります。このへんは県当局に考えてもらいたい気がします。

**湘南高校を単位制の高校にし、飛び級制度を設け、レベル別の授業を行うようにする方が良い。**

この問題については、県教委も改革案を作っており単位制高校だけではなく、総合学科やフレキシブルスクールなど新しいタイプの高校が幾つも作られようとしていますね。私学に見られるような中高一貫教育の学校も生まれるのではないかという憶測もあります。今のところ、湘南高校ではこのような改革が行われると言う発表はありませんが、この先はわかりません。しかし、飛び級制度まではどうでしょうか。1, 2年間で湘南高校を卒業し、大学生になってしまう人がでてくるのでしょうか。ちょっと難しいような気がするのですが.....。

**70分授業と2期制はそのまま維持して欲しい。**

70分間の授業時間と前・後期2期制度は本校の最大の特徴の一つですね。他の大部分の高校では、授業は50分で、長期休業期間で区切る3学期制度です。これらについては生徒の間で、賛否両論に分かれるようです。前述の生徒のように支持する生徒がいる反面、70分の長さでは集中力が維持できず、2期制によって定期テストの回数減ることがかえって意欲を削ぐと主張する生徒もいます。当分の間、70分授業と2期制は守られる

模様ですが、さらに検討を要する問題だと思います。

**昔の固定観念で物事をやり過ぎ、伝統にこだわり過ぎていて、いいものを取り入れようとしない欠点があると思う。**

この生徒は、具体的に指摘していないのでどういう点がこだわり過ぎているのか理解できませんが、そういう面は確かにあるかもしれませんね。私たちは、前例が変革の足枷にならないう、よく吟味したいものです。

**もっとPC(パソコン)を授業に導入してもらいたい。**

湘南高校の教職員は、生徒の成績を全てコンピューターで管理しており、通知票でさえも手書きやスタンプ印ではなく、パソコンのプリンターで作成しております。また、今年度からは図書室に生徒用のパソコンが配備され、インターネットに接続することができるようになりました。しかし、全員の生徒がそれを扱うことができる状況には、まだほど遠いものがあります。予算の問題も大きいと思いますが、県に検討してほしいと思います。もっとも、現在の教室の設備を考えると、コンピューターより前にそろえてほしいものは幾つもあります。何しろ、教室に県費で時計を設置することさえ出来ないのですから。(教室用の時計は今年度よりPTAの私費によって設置されることになりました)

(前校内幹事 長澤郁夫<sup>49</sup>)

2001年春、以下のような職員異動がありました。  
長澤校内幹事が転出され、服部校内幹事が着任されました。  
(事務局)

#### 離任した職員

<総括教頭> 小澤 宏高(平安・校長)  
<全日制> 石浜 文武(定年退職)  
三宅 正徳(寒川)  
木村 康文(平塚工)  
<定時制> 長澤 郁夫(深沢)湘友会・49回  
佐藤 一美(三崎水産)  
八戸かおり(平沼)  
園 礎(定年退職)湘友会・34回  
<通信制教頭> 吉田 敏令(教育セカ)  
<通信制> 澤井 泰紀(和泉)  
後藤 孝幸(釜利谷)  
森 清隆(鶴嶺)  
堺 裕子(日野)  
<事務> 亀田 房枝(大和)  
岡田 利春(逗子)  
石渡 一郎(藤沢北)

#### 着任した職員

<総括教頭> 中村 伸行(大和)教頭  
<全日制> 服部 寿美(大和南)湘友会55回  
山本 雅弘(中沢)  
<定時制> 中根 正彦(県立川崎図書館)  
清水 孝(寒川)  
伊田 直樹(大和)  
<通信制教頭> 安藤 正幸(高校教育課)  
<通信制> 小林 芳子(厚木南)  
桜井 保志(永谷)  
<事務> 館 チエ子(大船)  
淀川 潤(岸根)  
三浦日出男(大原)

# 支部だより

## 西日本支部

第9回西日本支部総会は、2000年11月25日(土)午後4時より、会場は例年のように大阪・天満の「福屋」で開催された。司会は平岡豁氏<sup>32</sup>、井上篤太郎支部長<sup>30</sup>の開会の挨拶に続いての乾杯の音頭は最年長の菅井勇蔵氏<sup>12</sup>が行った。毎年必ず藤沢から参加する澤昌男湘友会参与<sup>22</sup>からは母校湘南の近況報告があった。

「八・二 (ハマルイル) に向かって」と題しての講演は、添田広<sup>43</sup> 歯科医師のお話で、80歳になっても20本の歯があるようにするために健康管理(歯の手入れ)をどのようにするかを判りやすく説明。次に井上支部長の引退声明と、次期支部長に井沢勝氏<sup>32</sup>をとの推薦があり、全会一致で了承した。続いて自己紹介並びに近況報告、歓を盡した後、校歌を斉唱し井沢勝新会長の閉会の言葉で締め括られ、名残を惜しみながら散会した。

(澤昌男 記)

## 藤沢支部

2000年8月28日(土)藤沢グランドホテルにおいて神奈川県整形外科学会との共催で「生活習慣病と運動」という演題で、長谷川鎮雄先生<sup>28</sup>に講演していただき、その後「夏の集い」を行いました。支部長、招待者の挨拶、会計報告の後、約120名の会員がおいしい料理とお酒で歓談し、ピンゴゲームで盛り上がりました。

藤沢湘友会は、年に一度8月の最終土曜日に「夏の集い」として開催され、2001年は8月25日(土)6時より藤沢グランドホテルです。今年は趣向を変えて「Jazz and Trumpet are my life」と称して伊藤陸男<sup>38</sup>さんとその仲間達による懐かしいジャズナンバーをお楽しみいただく企画です。ダンスタイムも設けました。(踊れない方も大歓迎)

他市町村の方もふるってご参加下さい。役員一同心よりお待ちしております。そして古きも新しきも、湘南の良き時代を一夜語り合いましょう。(宮代昭子 記)

## 鎌倉支部

鎌倉支部は逗子・葉山を含めて活動し、数年ごとに総会を開き、毎年幹事会を開いている。今年は4月21日(土)5時半から、鎌倉・二の鳥居前の浅羽屋で幹事会が開かれた。齋藤俊英校長先生にもご出席いただき、母校の様子を伺い、各自の近況やこれからの活動について話し合われた。この幹事会は、毎年春に開かれ、過去・現在の鎌倉・逗子・葉山に在住・在勤の方なら誰でも自由に出席出来ます。気軽に下記へご連絡下さい。

事務局：林 弘明<sup>41</sup> 03-3595-1539 (株)ハート財産パートナーズ

## 平塚支部

新支部長に決まった飯島則忠君<sup>26</sup>が、スポーツプラザ 神奈中平塚を会場にして、2001年2月2日夕刻から

総会を開いた。来賓の母校の齋藤校長の挨拶、議事が終わって、小笠原勲<sup>26</sup>が「生活習慣病について」と題する講演を行った。在学中平塚から通った相原三郎君<sup>19</sup>、能村哲朗君<sup>25</sup>が参加した。懇親会が終わり校歌斉唱して散会。(添田徳積 記)

## 茅ヶ崎支部

2001年2月12日(振替休日)、茅ヶ崎「阿部浅」にて定期総会を開催。議題は新会長の選出。満場一致で篠田朗彦君<sup>33</sup>が選出された。新会長は、これまで県フラワーセンター所長を勤めてこられた。齋藤校長、杉山会長、添田参与の挨拶の後、比企君<sup>27</sup>(茅ヶ崎北病院長)の「ガンは怖くない」と題した講演。内視鏡の達人としての興味ある内容で、特に生々しい写真には一同驚嘆。その後、当支部恒例のアトラクションを入れながらの懇親会。マジックや玉すだれの大道芸に楽しいひと時を過ごした。

(添田徳積 記)

## 横浜湘南会

2000年10月6日(金)午後6時より、相鉄グループの横浜西口「横浜ベイ・セラトンホテル&タワーズ」にて第11回「横浜湘南会」を開催。

ゲストに、澤昌男湘友会参与<sup>22</sup>・亀井善之衆議院議員<sup>30</sup>・番場定孝県会議員<sup>34</sup>・水戸将史県会議員<sup>56</sup>・飯島則忠平塚支部長<sup>26</sup>等多彩な顔ぶれを迎え、佐藤(鍛)順子君<sup>39</sup>の司会のもとに、後藤次郎新支部長<sup>38</sup>の挨拶に始まり、岡崎洋県知事<sup>25</sup>の来賓挨拶、相原三郎君<sup>19</sup>の乾杯、杉山巖湘友会会長<sup>27</sup>より母校の様子や湘友会の活動報告等があり、常連や新顔65名余の会員が集い、思い出話や商談に花を咲かせ、賑やかに懇親の一時を過ごしました。

最後に、杉山湘友会会長のエールにて締めくくり、来年の再会を約して散会。(片岡正 記)

## サンパウロ湘友会

2000年に入り、校友のサンパウロ訪問が相次いでいます。4月及川君<sup>61</sup>、5月竹内君<sup>56</sup>、それぞれの客人を迎えてサンパウロ湘友会を催しました。

2000年5月21日、ブラジル日本商工会議所会頭に、貞方賢彦君(定<sup>36</sup>:写真)が就任しました。日本・ブラジル間の修好も1世紀以上に亘り、20世紀後半には多くの日本企業が進出、大いに活躍を続け、現在ではブラ



ジル経済の中でも日本の経済グループは大きな地歩を刻するに至っています。貞方君はブラジル生活も33年に及びずでに帰化、92年よりブラジルヤクルト商工の社長として活躍中です。この会頭には日本よりの進出企業の現地社長が多く就任してきました

が、彼のようにブラジルに根を下ろした腰掛でない在住者が会頭に選出されたことは特筆されるべきであり、日系人社会としてもブラジルに相応しい人事であると思

ます。しかもそれが、湘南校友の一人で気を吐いているというニュース、日本から遠隔の地へ大きな声援を送るうではありませんか。

(発信：森忠重<sup>34</sup> 中継：谷沢清<sup>28</sup>)



# 学年会だより

学年会やクラス会で名簿を更新された時に、湘友会事務局まで名簿コピーを(更新箇所明示の上)送付していただくと、湘友会名簿管理担当に直接届けられ、以後登録が更新されます。

## 8 回生

2000年5月19日(金)、卒業67周年に当たる同期会が定例の蓑島君経営の国府津館で行われた。4月末の広瀬君の他界で存命者25名となり、参加者10名と少なくなったが、85才の年齢ともなるとやむをえない事であろう。知多市から加藤君も駆けつけ、会えばたちまち挨拶ももどかしく互いの健康を喜び合い、国府津館ならではの新鮮な活魚料理に舌鼓を打ちながら、三鶯君が在校時代の射撃大会優勝や数々の思い出の写真を編集コピーしての説明に思いを新にした。水墨画家の西松君が見事な色紙を描いて持参し全員に贈呈されて、懐旧談が弾んだ後、安部君手みやげの名菓や、蓑島君から寄贈の海浜名物等を手に手に解散した。(佐野真 記)

## 10 回生

赤木校長から名付けられたという『実快生の会』は、地区持ち廻りで毎年開催してきたが、会員の高齢化と減少を機に、茅ヶ崎総会のあと今後の運営を検討した結果、中村君を代表に、東京在住の曾我・小市・下野君が幹事となり、2000年5月14日(日)、会場は大丸ルビーホールとして『悠久の会』と改め再出発した。本部からは添田参与が出席した。

2001年度の総会は下記により開催される。

5月20日(日) 12:00 大丸12階・ルビーホール  
(添田徳積 記)

## 11 回生



伊藤公雄君が長く幹事を努め、湯河原一泊等運営に尽力してきたが、眼を患い引退。貌倉君が引き継いで努力をしてきたが、80歳を超えて参加者が激減。そこで12年度は会員の現況、回顧、意見等をまとめた冊子を発行して「紙上同期会」として郵送した。(添田徳積 記)

伊藤公雄君が長く幹事を努め、湯河原一泊等運営に尽力してきたが、眼を患い引退。貌倉君が引き継いで努力をしてきたが、80歳を超えて参加者が激減。そこで12年度は会員の現況、回顧、意見等をまとめた冊子を発行して「紙上同期会」として郵送した。(添田徳積 記)

## 13 回生

2000年5月21日、年1回のクラス会を小田原、国府津館にて開催しました。春原先生をお招きして生徒15名の出席でした。今回は国府津館の館主8回卒の蓑島清夫氏に相模湾の魚のことや、私達が入学した昭和一桁の頃の国府津駅の様子等、興味深く話して頂きました。今回のため札幌から渋谷君、軽井沢から吉武君が遠路馳せ参じていただき、久しぶりで出席の神保君の乾杯音頭により、減ることはあっても増えることのないクラスメートが友情を温め合う有意義な会合にしてくれました。

尚、先輩の蓑島氏の心温まるおもてなしに改めてお礼申し上げます。(富田信 記)

## 14 回生

2000年10月4日、横浜駅のホッペンに21名の会員が集まり恒例の総会。来賓は添田、春原の両先生。新潟十日町から梅田健次郎君が久しぶりの元気な顔を見せ大拍手。常連が次々に自己紹介。この会の写真や資料が整っているのは浅井君と野中君の厚意によるものである。



湘南中学の英語教育が全国の注目を集め、昭和10年の東京文理大での公開

授業に、当時2年生であった14回生40名が加藤先生のリーダーの授業を受けた経験を持っている。この日の総会でも野中君と石原君が思い出を披露してくれた。野中君がニューヨーク駐在をまっとうできたのも、石原君が海軍機関学校から海外体験を重ねられたのも、中学での英語教育のお陰と語っていた。(添田徳積 記)

## 16 回生

まさに桜花爛漫の時、2001年4月8日同期会総会を相模灘に面する国府津館で開催。今年は茅ヶ崎以西が幹事を担当し、参加会員32名の他、春原先生ご夫妻をお迎えして楽しい一時を過ごすことができました。今年も残念ながら2名の同期の友が逝去され、黙禱を捧げて懇親会に入りました。喜寿を過ぎても皆元気で、最後に60年の昔に戻って校歌を斉唱し、来年の再会を約して散会しました。(栗原忠司 記)

## 18 回生

18回同期会は毎年場所を変え、幹事持回りで開催している。今回は鎌倉・逗子・葉山の居住者が幹事役。猛暑も去った2000年10月27日(土)、場所は鎌倉の若宮大路にある鶴ヶ岡会館に56名が参集した。司会は呉君。福永君・山内君の両名の挨拶で開会。来賓は春原・添田の両先生、お二人ともお元気で、春原先生は「明後日90歳になる」とか、卒業後57年目にお達者な恩師をお迎えできることはなんと幸せなクラスであることか。

18回生はその1/3が他界している。



予定通り会も進み懇談に入ったが、旧友との話は尽きない。時間が過ぎ潮時を見計らって閉会したくとも、躊躇するような盛り上がり。かくて無事終了。明年幹事の平塚・茅ヶ崎にバトンタッチ。(大平芳美 記)

### 19 回生

19 をもじて、一休会と命名して、クラス会を毎年実施している。藤沢・平塚・鎌倉・逗子と3地区在住者に分けて、幹事となり運営している。2000年は10月21日大船にて行った。出席47名(卒業総数約240名)談論風発、おおいに飲み、語り合った。2001年は、藤沢で10月13日(土)の開催が決まっている。



(佐草幸夫 記) クラス会より湘友会に金3万円のご寄付を拝領

### 20 回生(4卒)

2000年11月25日、予定通り「総会」が、藤沢グランドホテルで開催され、晴天に恵まれ、66名の会員が元気に集いました。(84名の出席予定者の内、急用・急病で18名の方が当日欠席)

第1部の総会と第2部の宴会の間に、下里君による記念撮影が行われ直ちに現像焼き付け、宴会の席上全員に配布いたしました。初参加の渋井君、久しぶりの成田君、飛び入りの吉川君の挨拶がありお互いの再会を喜び合いました。加齢と共に、藤沢の地も懐かしく旧友との懐古談に時が経ち、予定の時間を超え4時頃植木君の「閉会の辞」でお開きとなりました。この「閉会の辞」は船越君の予定でしたが去る11月10日急逝され、会報の「式次第」が間に合わずそのままになって悲しさを誘い、人の命の儚さを痛感致しました。次回総会をもっと気候の良い9月26日に当ホテルで開催の予定で再会を約し散会しました。(松本文司 記)

### 21・22 回生

2000年9月26~27日、昨年に引き続き西島桂吉君の箱根のパークス吉野で開催。ところが社長は病欠。来賓の春原・添田先生は自動車でお出迎え。福岡から楠田君、仙台から矢島君、豊中から柴田君、つくばから鈴木茂君、船橋から立川君、小牧から中村功君、広島から

中山  
健君、  
豊橋  
から  
深谷  
君、  
川口



から前田君等遠路参加の常連。一同古稀を迎え大円熟ながら髪黒々は桑田君だけ。在学中平塚から通った三次衝君は、富士通副社長で国語審議会委員を務めるとの自己紹介に一同驚いた。ご本人はインターネットの関係だと説明。茅ヶ崎・平塚・大磯地区の幹事に感謝しつつ翌朝解散。

(添田徳積 記)

### 24 回生

我々湘南二三四会は、2000年10月14日清明会館に於いて平成12年度の総会(古希の会)を行いました。旧師春原・添田両氏が参加された。合計78名でした。



我々の年次は歴代の中でも特異な年次であり、昭和22・23・24と3年に亘って卒業生がでました。(大半は23・24ですが)そのため二三四会と称しています。

(佐々木道也 記)

### 25 回生

鎌倉地区が宮ノ下君などの幹事の尽力で、2000年11月11日夕刻から七里ヶ浜のプリンスホテルを会場に総会を開いた。増田君を中心とするバンドがムードを盛り上げた。来賓は春原・添田・斉藤先生。体調をくずして顔を見せなかった青木宏悦君(青木建設)が、86歳にしてなお壮者の如き母上に付き添われ出席した。病気のため言葉が不明朗の所もあるが、級友の励ましを受け嬉しそうだった。(添田徳積 記)

### 26 回生

2000年11月11日に清明会館において26回生105名に、春原淳三先生・添田徳積先生・武藤孝男先生・鈴木忠夫先生・斉藤忠先生の5先生方にもご来臨を賜り総勢110名参会し、大盛會に終わることが出来ました。(山田稔 記)

### 27 回生

湘南27期会(不作会)、本年も134名藤沢グランドホテルに集まる!

2000年6月9日、32組の担当幹事で開催、先生11名・会員123名の出席がありました。総会～講演会～懇親会と盛会裡に終始しました。主催幹事の一二三七拍子とそれの唱和した会場の盛り上がりは圧巻でした。今年・2001年は5月12日に横浜ベイシエラトンホテルで開催される。(村上言孝 記)

### 28 回生

2000年11月28日(火)に、クリスタルホテル藤沢で、28回生の同期会“華の二八会”を開催、約110名が出席した。大関・小関両氏の司会で終始和やかに進行した。正真正銘の新制高校第一回生も、もう定年退職して5年余りがたち、悠々自適を楽しむ人、まだ第二・第三の勤めに励む人など様々であったが、第一の職場や第一線を退いた人特有の和やかな表情が見て取れた。女性陣の方は、老いた親の介護や「毎日が日曜日」のご亭主との共存共栄をいかにはかっているかなど極めて具体的な話題が多かったようだ。梅沢君のピアノ、保坂君のリードで、校歌・応援歌を高らかに斉唱して会を締め括り散会した。(堀田暁子 記)

### 29 回 旧 22 組

1年おきの添田主任を囲む会は、2001年3月20日



前日に引き続き平塚の松鱗亭で開催。「いつの間にか87歳になった」と言う添田主任は、脚が弱くなり杖について参加。常連

のほかにオーストラリア駐在が長かった丸山君が逞しい姿を見せた、水口君の禁酒体験談に一同傾聴。一同の自愛を祈る同主任を見送って解散。(添田徳積 記)

### 30 回生

2000年11月18日(土)午後3時より藤沢市民会館にて、第10回同期会を開催した。当日は、恩師6名、同期85名の出席があり、遠くは福岡・大阪・長野より馳せ参じた仲間もおれば、卒業以来45年ぶりに初めて参加した仲間数名もいた。記念撮影後、恩師、仲間同士の和やかな歓談や同期内藤正彦君のカンツォーネ、若い女性の演奏を聴きながら、午後5時半1年後の再会を約して、特注のお土産(校章、卒年次入りの文明堂カステラ)を手にとり散会、二次会へと場所を移した。

尚、2001年11月17日(土)、第11回同期会を開催の予定である。(遠藤明夫 記)

### 31 回生

他の同期会の報告と違って、予告をさせていただく。

31回生は卒業後45年経ち、最近では2年ごとに同期会を開いているので、今年は11回目の同期会を開く年になっている。ところが、今年は31回生が湘友会総会のアトラクションの担当幹事になっていて、前会の同

期会でお話ししたように、今年の同期会は湘友会総会・アトラクション後に行われる湘友会懇親会(41回生担当)で済ませようと言うことになっている。従って、恒例の同期会は開催しないので、6月23日(土)に母校で開かれる湘友会総会・懇親会には、友人を誘って一人でも多く出席して欲しい。当日の案内は別に往復ハガキで出す予定。(問い合わせ先：0467-22-6931 内海恒雄)

### 32 回生 「夢・21世紀に向けて」



2000年10月14日(土)、ホテルリッチ横浜にて110余名参加のもと、32回生同窓会を開催しました。

当日、ご多忙にもかかわらず春原・添田・雨宮先生方のご出席も頂き大変楽しい同窓会となりました。

幹事代表の秋山泰雄君より、今回のキャッチフレーズ「夢・21世紀に向けて」の趣旨説明並びに格調高い挨拶、次いでワールドカップ組織委員会で活躍する太田昇君(前横浜市教育長)のスピーチ、音楽関係で活躍する東博之、鈴木達也両君による男性コーラスと会は大変盛り上がりしました。テニスの広瀬均君(元デ杯監督)からは、毎年開催しようとの緊急提案が出され承認されました。最後に桐沢潔君から重厚な挨拶があって閉会となりました。(轟貞雄 記)



### 32 回生 23 組

4年ぶりに、4回目を迎えた32回生日23組クラス会が、恩師春原淳三先生をお迎えし、2001年2月17日(土)銀座アスター藤沢館にて盛大に開催された。当日は、福岡や愛知から駆け付けた2君を含め22名が参加し、90歳を迎えなお豊饒たる先生のお話に耳を傾け、45年前のワンシーンを思い起こし皆感慨ひとしおであった。各界第一線で活躍するメンバーが近況を語り合い、今後の更なる健闘と再会を誓いつつ校歌で先生をお送りして、思い出の1頁を新たに加えることができた。

(林功 記)

### 35 回生

2001年1月13日(土)、美々卯(横浜そごう店)で開催、西日本支部の幹事長・鈴木康生君を迎え約22名が集まった。



そのうち女性6名、旧職員の澤が特別参加。初めは顔と名前がチグハグでも自己紹介の後、次第に皆昔の顔に戻って懐旧談に花が咲く。澤が撮影した8ミリ映画《修学

旅行》をビデオに転写したものを映写、若き日の友の姿をその中に発見し、懐かしさもひとしお、校歌を斉唱し、再会を約して解散。二次会場も盛況であったとのこと。  
(澤昌男 記)

### 37 回生

来年の2002年に同期会を開催いたします。

1～8組の各クラス幹事の合同協議により、来年6月15日(土)午後藤沢周辺で同期会を行う事が決定。そのため、今年は各クラス会を開催し、名簿などを整理するよう努める事になっております。来年をお楽しみに。

37 回生有志が集うホームページがあります。興味のある方、覗いてみてください。

<http://www.egroups.co.jp/group/Shounan37kai/>

(大谷昌夫 記)

## いろいろ湘友会

### バトミントン部

以下のように50周年記念総会を開催します。

日時 2001年10月13日(土) 14:00

場所 藤沢市民会館

連絡先 金丸<sup>32</sup> 044-954-6181

詳細は追って連絡します。

### 福祉湘友会



2001年1月20日(土) 総会・新年会を開催、朝からの雪で参加者は14名と少なくなりましたが、古都・鎌倉浄明寺の「左可井」の庭は一面の銀世界となり、雪見酒を

楽しみながらの会となりました。

当湘友会も、全日制・定時制・通信制三課程併せて21名の方が新に加入、130名あまりの会となりました。

7月には(土曜日午後の予定)清明会館セミナー室をお借りして研修会(テーマ:不況下に於ける施設、作業所等の製品の販売促進活動、仮称)を開催の予定です。多数の参加をお待ちしています。(連絡・問い合わせ先:全37回奈倉 /Fax 0467-22-8950)

## トピックス

### 石川 浩先生(第13代校長)ご逝去

2001年3月14日ご逝去されました。享年69歳。謹んでご冥福をお祈りいたします。

### 斎田晴子さん 将棋女流名人位獲得

60回生の斎田晴子3段が、2001年2月の女流名人位5番勝負最終戦で、驚異的な粘りの末中井広恵名人を破り、第27期女流名人位につきました。過去に2期女流王将位についておりますが、名人位は初めて、同時に4段への昇格を飾りました。おめでとう!!

### ダークダックス ゾウさんからの便り

私たち男性四重唱団「ダークダックス」は、昨年の2000年12月24日に、結成50周年目に入りました。現在まで、一度もメンバー変更もなく50周年を迎えることができたことは、すべて皆様方のおかげと、改めて御礼申し上げます。

しかし、時の経つのは恐ろしいもので、私たちが「旬」のタレントとして、日夜ステージ、ラジオ、テレビ(初期はテレビがありませんでしたが)で大活躍していたころにお世話になっていたマスコミ関係の方々の殆どは亡くなられたり、あるいは勇退されて悠悠自適の生活を送られている方々ばかりになってしまいました。

ということは、現在マスコミの最前線で活躍されている皆様方の中には「ダークダックス」といってもご存知ない方が少なくありません。これは今まで音楽の良心に従って歴史を築いてきた私たちとしては大変悲しい事です。

という理由で、私たち「ダークダックス」の50年の歩みを再認識していただきたくお便りした次第です。なにしろ50年、半世紀は長いので、細かいことを聞いて下さる方には、何時でも何処でもお応えする事やぶさかではございません。

合わせて今年開催します「結成50周年記念 **ダークダックス リサイタル アダージョ**」についてもお知らせさせていただきます。リサイタルのテーマ「アダージョ」は、ご存知のように“ゆっくり、ゆるやかに、エレガンス”などの意味ですが、ダークダックスのコンサート活動も交響曲にたとえるなら、第一楽章「アレグロ(速く)」の20世紀からいよいよ第二楽章「アダージョ」の21世紀を迎えます。

なお、残念なことをひとつ。それは2年前から佐々木行こと**マンガ**が病気のため療養中ということです。誰かピンチヒッターとして採用しようかとも思いましたが、

<写真右側がゾウさん>



多くの方から「ダークダックスは他のコーラスグループと違い、ダークダック

スという印象が強烈なのでメンバーを足すことはイメージを変えてしまう。トリオと言うジャンルで編曲し直しでしっかり勉強して欲しい」と激励され、現在は「ダーク3兄弟」として、リ・アレンジして歌っています。一つ空いているところに早くマンガが復活してくるのを待っている状態です。マンガもヴォイス・トレーニングをはじめとしたりハピりに励んでいます。

注:50周年リサイタルは、5月から国内各地で開催します。12月2日に藤沢で行いますので、どうぞよろしく。  
(ゾウさんこと 金井 政幸<sup>23</sup>)

湘南紳士録 第38話 荒間 蒼海

# 大先輩は三愛と誠

片山 豊(3回生)の自動車人生



- 〆〆 赤木校長のお陰で今日が
- 〆〆 好奇心はハイカラ祖父譲り
- 〆〆 鎌倉第一小の市川先生
- 〆〆 春うららの通学路 湘南中学
- 〆〆 漫画家と同名。九死に一生の大手術
- 〆〆 湘南大好き
- 〆〆 好きな湘南に7年
- 〆〆 昭和10年日産自動車に入社
- 〆〆 アメリカで王道商法
- 〆〆 Zカーは不滅です Welcome Mr. K
- 〆〆 生涯修養 何ごと我が師
- 〆〆 片山ファミリー(1人も欠けていない)

タイトルのみの紹介とさせていただきます。  
内容につきましては、湘友会報(紙版)をご覧ください。

## 2001年湘友会アレコレ

### 80周年記念誌・記念品(絵はがき)販売

母校創立80周年を記念して発行される「記念誌」と「絵はがき」(教員・先輩寄贈の校内展示絵画8枚組)を残部が有る限りでお譲りいたします。

価格は「記念誌」1800円、「絵はがきセット」700円、共に送料込みの値段です。購入希望者は、郵便局にある振替用紙を使い送金してください。

送金先 口座番号 横浜 00260-7-13577

口座名 湘友会

用紙の通信欄に卒業回数、記念誌 冊、絵はがき セットと記入して下さい

絵はがきに収められている絵画は次の8葉です。

- 「烏森」塚本 茂(元美術教諭)
- 「パンジーのある静物」山下大五郎
- 「ピンのある静物」三浦次郎
- 「アネモネ」鈴木 清
- 「6月の港」石川滋彦
- 「辻堂風景(落日)」甘糟三郎
- 「城ヶ島」小泉元生
- 「パレットの見える丘」澤 昌男<sup>22</sup>(元美術教諭)



(セット8枚の内)

城ヶ島  
小泉元生

### 湘友会会員数2001

2001年3月の新入会員は合計705名で、内訳は全日394、定時制59、通信制252でした。その結果、2001年3月末現在の会員数は

	総数	うち全日制
会員(物故者を除く)	44,300	25,400
消息判明者	37,600	22,100
判明率(%)	84	87

### 湘南高校新入生2001

4月6日の全日制入学者は357名で、男子が167、女子が190と、女子が男子をかなり上回りました。また、今年から学区外の枠が8から25%に引き上げられ、学区外から88名(24.6%)が入学しました。

### 湘友会ホームページ

湘友会は昨年5月、ホームページを開設し、10ヶ月間に延べ1万回の閲覧を記録しています。湘友会報そのものに加え、支部の例会やクラブOB/OG会の予告、

母校の行事などをご覧になれます。体育祭のバックボードの写真など、ホームページならではの情報も楽しんでいただけます。

また、将来的な活動の拡大を視野に入れ、shoyukai.comのドメインを新たに取得しました。

<http://www.shoyukai.com/>

<http://www.shoyukai.org/>

いずれでもアクセスできます。

### 湘南卒業生の間メーリングリスト

湘友会としては直接関与していませんが、加入者間で公開のおしゃべりや情報交換する「メーリングリスト」があります。湘南の卒業生つまり湘友会員であれば加入できます。加入手順を概略すると、

[Majordomo@shonan.dhs.org/](mailto:Majordomo@shonan.dhs.org/) あてに、以下のコマンドをeメールで送って下さい。

Subscribe [Shonan@shonan.dhs.org](mailto:Shonan@shonan.dhs.org) [あなたのeメールアドレス] end 加入意思確認のやり取りのあと、メールが届き始めます。

入会后メールを送る(掲示する)場合は

[Shonan@shonan.dhs.org](mailto:Shonan@shonan.dhs.org) に送ります。

#### 事務局から

湘友会報もすべて電腦バージョンになりました。昨年号からホームページで見ることができます。

湘友会の会務をお手伝いいただけるボランティアOB&OGを募っております。事務局までご連絡下さい。

**来年2002年の総会運営は、卒業年次末尾2の方々を中心になります。**

**32回生、42回生、52回生、62回生の皆さん、出番です、よろしくお祈りします。**

#### 第43号の編集スタッフ

添田徳積 / 澤 昌男<sup>22</sup> / 堀田暁子<sup>28</sup> / 深川和子<sup>29</sup> / 二宮 毅<sup>30</sup> / 鈴木直人<sup>36</sup> / 宮代昭子<sup>36</sup> / 大谷昌夫<sup>37</sup> / 渡辺縫子<sup>38</sup> / 長沢郁夫<sup>49</sup> / 電腦チーム

#### 会報編集部から寄稿に関するお願い

毎年3月末までに届いた同期会、クラブOB会、各種湘友会などの記事は、会報に掲載できます。連絡先明記の上、A4版用紙に記事(横書き)や写真(1枚)などをまとめて事務局に直接お送り下さい。もちろん電子的にJPG-ディスク直送(windows版)、メール添付も歓迎です。ただし、3月末の締切期限厳守です。

本年号の記事に、クラス会のお便りもいただきクラス単位の楽しい集いが伺え、同慶の至りです。しかし、今後ミニ集合の記事が増えると、紙面不足も考えられます。次号からは、「同期学年全体にわたる集い」「同窓会全体に呼びかける集い」「クラブごとのOB全体の催し」について会報に掲載する旨の基準を設けさせていただきます。判断不明のときは、事務局にお問い合わせください。

ご協力よろしくお祈りいたします。